

Q1 本学着任前にされていたことは？
専門分野は？

名古屋外国語大学の教員でした。専門分野は英語史です。英語の言語変化に広く関心があります。特に中世の英語における語順の変化について研究しています。

Q2 本学でやりたいことは何ですか？

皆さんと一緒に英語の面白さを学んでいければと思っています。また、英語史の専門家として研究を深め、その成果を教育の場にも還元したいです。

Q3 大学時代はどのような学生でしたか？

はっきりとした目標や明確にやりたいことはありませんでしたので、色々なことに手を出してふらふらしていたと思います。その中で勉強する面白さに気がきました。

Q4 趣味・特技は何ですか？

旅行や温泉巡りなどです。

Q5 休日はどのように過ごしていますか？

校務などで忙しい週末が多かったのですが、合間を縫って山梨県や静岡県、長野県を旅しました。壮大な景色と澄んだ空気に癒やされました。

Q6 尊敬する人は誰ですか？

人生のターニングポイントを作ってくださった先生方です。

Q7 座右の銘は何ですか？

特にありませんが、お世話になっている先生が大切にしている言葉を紹介します。それは「好奇心」です。何かを面白いと感じられる気持ちを大事にしたいです。

Q8 本学の学生へメッセージをお願いします。

考えすぎて動けなくなるよりは行動してみましょう。一歩でも動けば見える視界は変わるはずですよ。



高橋 佑宜 (Takahashi Yuki) 准教授
英米学科 英語学



Q1 本学着任前にされていたことは？
専門分野は？

東京の大学で、ドイツ語やドイツ文学についての授業をしていました。二つの世界大戦期にドイツ語で書かれた文学作品について専門的に研究しています。

Q2 本学でやりたいことは何ですか？

とにかく、本を読むことの楽しさと意義を伝えたいです。本を読まなくても生きてはいけるかもしれないけれど(私は無理ですが)、本を読むと人生の可能性がこんなにも広がるのだということをできるだけ多くの人たちに実感してもらおうのが、一番の目標です。

Q3 大学時代はどのような学生でしたか？

大学の授業は好きだったので、昼間はせっせとキャンパスに通い、夕方以降は学習塾で講師のアルバイトに励んでいました。幼稚園生から高校生まで、たくさん子どもたちに日々癒されていたものです。

Q4 趣味・特技は何ですか？

料理が趣味です。最近、究極のラザニアを編み出しました。特技は遠泳です。学生時代にゼミの合宿で海へ行った際、「回遊魚」というあだ名を付けられました。

Q5 休日はどのように過ごしていますか？

読みたい本を一気読んだり、展覧会や映画館へ行ったり、煮込み料理を作ったり、市民プールへ行ったり…そのときの気分です。

Q6 尊敬する人は誰ですか？

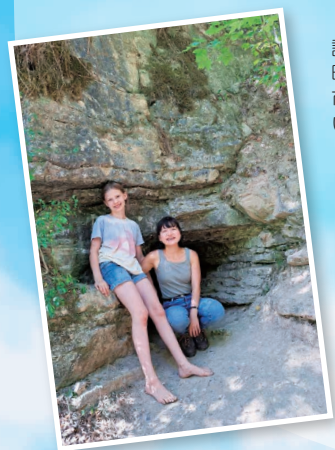
高校のときの歴史の先生(通称ゆーちゃん)です。つねに全力で暑苦しい授業を展開するので(なぜか一人称「オイラ」)、全生徒が最初はドン引きするのですが、そのうち不思議とやみつきになります。今になって、毎回あんなに熱量があって印象に残る授業を提供し続けていたゆーちゃんのごさを噛みしめています。

Q7 座右の銘は何ですか？

「Und es handelt sich darum, alles zu leben. Leben Sie jetzt die Fragen. (そして大切なのは、すべてを生きることです。あなたはいま、さまざまな問いを〈生きる〉のです。)」オーストリアの詩人リルケの書簡に書かれた言葉。リルケは、ひとつの答えを出してしまうことよりも、問いを問い続けることのほうが大事なこともたくさんあると気づかせてくれた、私の大好きな詩人です。

Q8 本学の学生へメッセージをお願いします。

「ムダだ」と思ってしまうような事柄にこそ、実は人間にとって本当に意味のあることが詰まっているものです。効率だけを見据えずに、人生の「あそび」の余地を大切にしてほしいと思っています。



宮下 みなみ (Miyashita Minami) 講師
総合文化グループ ドイツ語圏地域研究